

2023年5月19日  
西日本旅客鉄道株式会社

## 車両側面カメラを用いた画像解析装置の開発・検証開始

西日本旅客鉄道株式会社（以下「JR西日本」）は、「JR西日本技術ビジョン<sup>※1</sup>」において「持続可能な鉄道・交通システムの構築」を目指しています。その一つとして、地上設備の車上化・シンプル化を目的に、車両側面カメラ・車載モニタを用いたワンマン方式の検証<sup>※2</sup>を行っています。

このたび、より一層の安全性向上に向け、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」に掲げるホームの安全対策として、車両側面カメラの映像から列車に接近するお客様を自動で検知し、運転士に通知するシステムの検証を開始しますので、お知らせいたします。

※1：「JR西日本技術ビジョン」：<https://www.westjr.co.jp/company/action/technology/vision/>

※2：車両側面カメラを用いたワンマン方式の検証について（2022年1月24日プレスリリース）  
[https://www.westjr.co.jp/press/article/items/210124\\_02\\_camera.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/210124_02_camera.pdf)

### 1. 検証の実施概要

システムの概要 (別紙参照)	・車両側面カメラの映像をAIでリアルタイムに画像解析 ・車両側面から一定範囲内に近づくお客様を検知した場合に、 車載モニタへの表示と警報音を通じて運転士に通知
実施エリア	山陽線（福山～新山口）、可部線、呉線
実施期間	2023年6月以降 ～ 2024年3月（予定）
検証車両	227系 1編成

### 2. 今後の予定

2023年度を検知精度の検証期間とし、2024年度に実用化の見極めを実施します。

### 3. その他

- ・検証期間中、列車の運行にこのシステムを使用することはありません。
- ・車両側面カメラの映像は、ホーム上安全確認を実施することを目的に撮影しており、特定の個人を識別するものではありません。

今回のご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番に貢献するものと考えています。

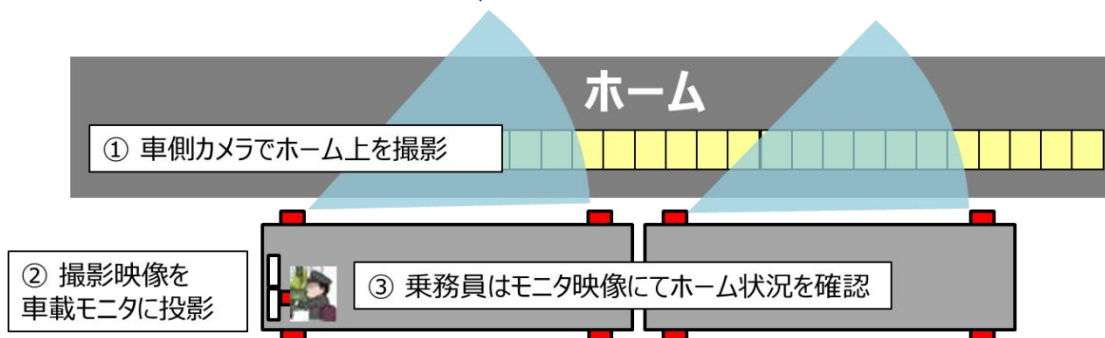


JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



## 1. 現在検証中の「車両側面カメラ・車載モニタを用いたワンマン方式」の概要

(2022年1月24日プレスリリース 別紙再掲)



車載モニタ



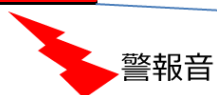
車側カメラ



## 2. 今回検証するシステムの概要

車両側面カメラの映像をAIで画像解析し、車両側面から一定範囲内に近づくお客様を検知した場合に、車載モニタへの表示と警報音を通じて運転士に通知

車載モニタ通知イメージ



■: 車両側面カメラ